

		到達目標	ディプロマポリシー			
			感じる力	考える力	コミュニケーション力	生きる力
教科教育科目		学生は、国語科の授業実践が持つ意義を、その背景にある理論と関係づけて説明することができる。	○	◎	○	
		学生は、国語科教育や関連諸領域に関する理論をふまえて、対象とする校種・学年に応じた学習指導案を記すことができる。	○	◎	○	
		学生は、言語とその教育に関する自らの見方・考え方を省察することを目的として、模擬授業等を行うことができる。	○	◎	○	
		学生は、国語科の授業や言葉の学びに関わる文化的実践について、将来におけるそのあり方を提示することができる。		◎	○	○
総合科目・基礎科目		学生は、言葉の学びに関わる教育活動の価値を、自らの言語観・教育観に照らし合わせて述べることができる。	◎	○		○
		学生は、対象とする校種・学年や児童・生徒の実態に応じて、国語科の授業を実践することができる。	○	◎	○	
		学生は、よりよい国語科の授業実践を創造するために、他者と協働することができる。		○	◎	○
教科専門科目	国語学	学生は、各教育現場で必要とされる国語学的事項を各発達段階に相応の具体例と共に説明できる。また、その国語学的事項は、「教壇で使用する実践的な内容」と「教壇では使用しないが押さえておきたい専門的な内容」に分けられることを理解できる。	○	◎	◎	○
	国文学	学生は、上代から現代までの国文学史に関する豊富な知識を得ることで、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。また、学生は、文学作品を論理的に分析する技能を身に付けることで、主体的な思考力を獲得するとともに、解釈の多様性を意識した他者との交流を通じて、社会生活を生き抜くための想像力や表現力を養うことができる。	◎	◎	○	○

	書道	学生は、書道（書写を含む）を実技・歴史・理論・指導法等、幅広く学び、総合的な視点から文字を捉え説明することができる。また、学生は、児童生徒の書字実態に即した教育を実施し、文字文化継承に寄与することができる。	○	◎	◎	○
	日本語教育	学生は、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の多様な背景と関連する理論を理解し、地域の教育体制を把握した上で、適切な日本語指導ができる。	◎	○	◎	○

教育学部ディプロマポリシー（DP）

三重大学教育学部は、学校現場における諸課題に対応できる実践的指導力を身につけた地域に貢献しうる教育人材を育成します。

教育学部は、次のような資質・能力を備えた人に対して、厳格な評価基準に基づいて学位を授与します。

・「感じる力」

教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えることができる。

・「考える力」

教育に関する専門的な知識や技能に基づいて学級等を経営するとともに、授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。また、教育をめぐる諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。

・「コミュニケーション力」

子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。

・「生きる力」

社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まえながら、責任ある行動をとることができる。また、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を有している。